

2017年度10月入学・2018年度4月入学1期

一般入試選抜方法及び試験科目

【博士前期課程】

専攻名	外国語	専門科目		口述 試験	
		必修科目	選択科目		
農学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	作物学 果樹学 野菜学 花卉学 植物病理学 応用昆虫学 育種学	のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
畜産学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	家畜繁殖学 家畜育種学 家畜生理学 家畜飼養学 家畜衛生学 畜産物利用学	のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
バイオセラピー学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。	植物共生学 人間植物関係学 野生動物学 伴侶動物学 植物介在療法学 動物介在療法学	の設問から任意の2問を選択する。	—	有
バイオサイエンス専攻	英語	分子生物学	—	—	有
農芸化学専攻	英語	生物化学 (分子生物学の内容含む)	無機化学 有機化学	のうちから1科目を選択する。	有
醸造学専攻	英語	生物化学 (一般及び微生物生理に関すること)	—	—	有
食品栄養学専攻	英語	食品栄養学 (食品生化学、調理科学、栄養生理学、保健栄養学、臨床栄養学の内容を含む)	—	—	有
林学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。	—	森林生態学 治山工学 緑化学 造林学 林木育種学 林業工学 森林経営学 森林政策学 木材工学 木材組織学 林産化学 木材保存化学	のうちから入学後専修を希望する特論に関連した科目と他1科目を選択する。	有

農業工学専攻	英語	—	地域資源利用工学 農村環境工学 広域環境情報学 地水環境工学 社会基盤工学 水利施設工学 バイオロボティクス 農産加工流通工学	のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。	有
造園学専攻	英語	—	造園史 造園計画学 造園工学 造園植物学 造園植栽学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する科目及び他1科目を選択する。	有
国際農業開発学専攻	英語	—	熱帯作物学 熱帯園芸学 熱帯作物保護学 農業環境科学 農業開発経済学 農村開発協力学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。	有
農業経済学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。※1	—	農業経済学※ 農政学※ 食料経済学※ 経済学	のうちから入学後専修を希望する※印付の1科目を含む2科目を選択する。	有
国際バリエーション初学専攻	TOEIC スコア提出 ※2	バリエーション 経営学	バリエーション経営・マーケティング論 情報処理論 バリエーション環境論	のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。	有

※1 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

※2 国際バリエーション初学専攻博士前期課程の受験者は、事前にTOEICを受験し、スコア証明書（Official Score Certificate）の原本を試験当日に持参してください。

## 【博士後期課程】

専攻名	外国語	専門科目	口述試験	
農学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。	作物学 果樹学 野菜学 花卉学 植物病理学 応用昆虫学 育種学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	有
畜産学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。	家畜繁殖学 家畜育種学 家畜生理学 家畜飼養学 家畜衛生学 畜産物利用学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	有

バイオセラピー学専攻	英語	—	有 これまでの研究成果に関するプレゼンテーションを含む試問	
バイオサイエンス専攻	英語	—	有 専門性を測るための試問	
農芸化学専攻	英語	生産環境化学 植物生産化学 栄養生化学 生物制御化学 微生物学 食料資源理化学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	有
醸造学専攻	英語	酒類学 発酵食品学 醸造微生物学 醸造環境学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	有
食品栄養学専攻	英語	臨床栄養学 保健栄養学 栄養生理化学 食品科学 フードマネジメント学 食品安全解析学 食品安全評価学 食品利用安全学 分子機能学 生理機能学 生体環境解析学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。	有
林学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。	森林生態学 治山緑化学 造林学 林業工学 森林経営学 林政学 木材工学 林産化学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	有
農業工学専攻	英語	地域資源利用工学 農村環境工学 広域環境情報学 地水環境工学 社会基盤工学 水利施設工学 バイオロボティクス 農産加工流通工学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	有

造園学専攻	英語	造園計画学 造園解析学 造園技術学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	有
国際農業開発学専攻	英語	作物学 園芸学 植物病理学 応用昆虫学 農業環境科学 農業開発経済学 農村開発協力学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。	有
農業経済学専攻	英語又は日本語から1科目を選択する。※3	農業経済学 農政学 食料経済学	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	有
国際バリエーション学専攻	英語	バリエーション経営・マーケティング論 情報処理論 バリエーション環境論	のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	有
環境共生学専攻	英語等又は日本語から1科目を選択する。	入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目。		有

※3 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

## 【修士課程】

専攻名	外国語	専 門 科 目		口述試験
		必修科目	選択科目	
食品安全健康学専攻 ※2018年4月開設予定	英語	生物化学 (分子生物学・有機化学・分析化学の内容を含む)	ケミカルトキシコロジー リスク評価学 食品開発学 生理活性物質学 生理機能学 生体環境解析学	のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。